

謹賀新年

広報

1

白河

2013.1.1 No.86



飛翔

■日本画家 今井珠泉氏（本市出身）「飛翔」

みんなの力を結集して 未来へ誇れる白河を ともに創っていきましよう



白河市長 鈴木和夫

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。大震災から二回目の新年を迎えましたが、被災され、未だ避難生活を余儀なくされている皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。被害のあった公共施設は、小峰城跡の石垣崩落など一部の箇所を除きおおむね元に戻りました。一方、懸案となっていた除染は、学校施設や都市公園などですでに実施してきましたが、地域のご理解をいただき仮置き場も決定してきたことから、使用開始に向けた作業を加速させ、放射線量の比較的高い地域から順次その低減を図ってまいります。また、今春にはホールボデー

カウンタを導入し検査体制を充実させるなど、健康管理にも取り組んでまいります。これからの未来をどうつくっていくかも重要です。年内には市民文化会館の建設に着手、完成の折には小峰城跡も含め白河駅周辺が歴史や文化の交流拠点として一体的に整備され、図書館との相乗効果によりたくさんの人でにぎわうことを期待しています。生活を安定させ、雇用をうむ産業振興のうち企業誘致は、昨年稼働したヤフー白河データセンターがすでに二棟目を増設していて、三菱ガス化学の土地造成工事も順調です。あわせて改良が進む国道294

号につながる国道4号4車線化も形が見えてきました。また、次代を担う人材を育てるため学校改築を計画的に進めるなど教育環境の整備を図り、さらには、子育て支援や高齢者サービスなどにもきめ細かに対応してまいります。日本は世界に例を見ない少子高齢社会になり、税負担など従来の利益配分から不利益やリスクを分担し合う時代に入りました。こうした厳しいときこそ知恵と工夫が必要です。協働の理念のもと、みんなの力を結集して、震災からの本格的な復興を果たし、未来へ誇れる白河をともに創っていきましよう。

平成25年の年頭に際し謹んでご挨拶申し上げます。東日本大震災から間もなく1年10月が過ぎようとしています。被災され今なお避難生活を強いられている皆さまに対し、改めてお見舞い申し上げます。さて、市は議会の協力の下、昨年初めに策定した「白河市震災復興計画」および「白河市除染計画」を基本として、「白河から光を」を合言葉に市民・企業・団体などの皆さまと一体となって復興への努力を進めてまいりました。その結果、民間の住居・施設および公共施設の復旧はほぼ完了しております。企業誘致で

は、三菱ガス化学などの大企業の誘致を積極的に展開され、将来の人口増加や市内への定住人口の増加対策なども見据えた考えの下に前述しました様々な計画を推進しております。あわせて、国道4号の4車線化などとともに、北部地域はその様相を一変しようとしています。さらに、新しい市民会館建設事業も平成27年度の完成を目指し順調に進んでおり、除染も大信地域から順次行われています。

また、昨年には不十分なながらも東電からの賠償金と県給付金の支給が実行され、12月には年年初から8月末までの東電賠償金として県南地域住民に対し追加支給することが発表されました。未解決の賠償はこれまで通り粛々と要求できるよう、議会と市は全力で支援体制をとってまいります。市議会は皆さまの最も身近にいて、ともに泣き・笑い・喜び合う存在です。もともとっと皆さまに市議会の活動が見える身近な議会となるために、議会内に新たな調査検討を行う任意の委員会を立ち上げました。執行部とともに市民の皆さまと市議会が手を携え、世界の人々から共感がよせられる本市の再生を目指し、うつくしい白河、うつくしい福島を取り戻すために力を合わせ前進しましよう。

白河市議会議長 高橋光雄

世界の人々から 共感がよせられる 再生を目指しましよう



ここを切つてね!
ここが「応募券」です!

広報読者の中で
総勢128人に
当たる!

「白河まちなか逸品」と「広報白河」が夢のコラボ
「お年玉スプ」をプレゼントします!
「白河まちなか逸品」を「お年玉スプ」にシヤル企画
今号では「白河まちなか逸品実行委員会」のご協力によるプレゼント企画です!

Present
ワイン1本
商品番号 1



福島の地酒で知られるお店ですが、実はワインもたくさんありますよ!

いせや君島商店 (一番町)

Present
お菓子詰め合わせ券 (1,000円分)
商品番号 2



山木屋菓子店伝統のお菓子をどうぞ!

山木屋菓子店 (天神町)

Present
手ぬぐいハンカチ1枚
商品番号 3



この他にも可愛い柄がそろっています。一度見に来てください!

麻の葉 (楽蔵内)

Present
干支の張り子置物1体
商品番号 4



だるまと干支のコラボ商品です。どこにでも置けるミニサイズです!

渡辺だるま屋楽蔵店 (楽蔵内)

Present
ワッフル1箱 (5個入り)
商品番号 5



お年寄りの方、お子さんも楽しめますよ!

ヤング・オーレ (本町)

Present
新駒本店共通お食事券 (2,000円分)
商品番号 6



新メニューの八重の割子もご賞味ください(要予約)!

外一蕎麦 蕎太郎 (中町)


Present
お茶とお菓子のセット
商品番号 7



とても美味しい健康と美容の特効薬!

渋木茶舗 (本町)

Present
①月花心湯岩プレートステーキ1人前
②新春マス酒1杯
商品番号 8



2つの商品のうち、どちらかをお選びください。

月花心 (愛宕町)

Present
ドリンク券 (500円2枚組)
商品番号 9



夜10時30分(火~土曜日)まで営業しています。ご利用ください!

えきかふえ SHIRAKAWA (郭内)

応募要項

- 応募期間 1月4日(金)~31日(木) (当日消印有効)
- 対象商品 24店舗25商品、総数128品
- 応募資格 広報白河の読者で、当選した場合に個人店舗(プレゼント提供店)に2月末日までに直接引き取りに行ける方
- 応募方法 1世帯1商品の応募とし、市販のハガキに紙面右上の応募券を切り取って貼り、希望する商品番号と商品名、必要事項(郵便番号・住所・名前・フリガナ・性別・年齢・電話番号・広報紙で取り上げてほしい内容や広報の感想)を明記して、ご応募ください。
- 応募先 〒961-8602 白河市八幡小路7番地1 白河市役所秘書広報課 広報白河「お年玉スペシャル企画」係
- 抽選方法 応募期間終了後に厳正な抽選の上、当選者を決定します。募集人数に満たない場合は、1次抽選で選ばれなかった方から、再度抽選を行います。当選者への通知は発送をもって返させていただきます。なお、個人情報、目的以外で使用しません。
- 問い合わせ先 本庁舎秘書広報課 ☎1111 内2373

Present
肉の味噌漬け
商品番号 10



国産肉使用のMDとみやまオリジナルギフトです!

MDとみやま (本町北裏)

Present
三層式羊毛混組布団1組
商品番号 11



ボリュームたっぷり!! 自社オリジナルふとん!!

寛製綿 (昭和町)

Present
お試しコース二人乗り
商品番号 12



絆な日本の心。歴史ある城下町白河で、VIP人力車による観光&史跡巡り!

新風亭 (大手町)

Present
洋菓子富士屋オリジナル詰め合わせ
商品番号 13



城の石垣をイメージしたクッキー「バルカン」をぜひご賞味ください!

富士屋 (年貢町)

Present
スパークリングワイン1本
商品番号 14



女性だけでも気軽に楽しめるお店です!

スナックじゅん子 (中町)

Present
三色だんご
商品番号 16



無添加で、全品手づくりしています!

あけぼの白河店 (横町)

Present
変わりだるま1体
商品番号 17



「福来る」と言われるフクロウと干支である縁起のいい「白へこ」です!

佐川だるま製造所 (横町)

Present
マッコリー一番1本
商品番号 18



明けましておめでとうございます。今年も頑張るぞ!

有賀酒店 (大工町)


Present
アイスキャンディー商品券 (1,000円分)
商品番号 19



温かいコタツに入りながら食べる、冷たいアイスキャンディーもお薦めです!

野村屋 (中町)

Present
小峰シロの桜蒸ドラ1箱
商品番号 20



明けましておめでとうございます。小峰シロと一緒にお待ちしております!

アルコニース (楽蔵内)

Present
藍染めの手提げ袋
商品番号 21



ちりめん素材の和の小物を取りそろえて、皆さんのお越しをお待ちしております!

きものの松河屋 (本町)

Present
技術料割引券 (500円分)
商品番号 22



天然素材にこだわったお店です!

美容室クラーク (横町)

Present
煎餅3種詰め合わせ
商品番号 23



売れ筋3種類を一箱にまとめ、商品にしました!

石倉煎餅店 (年貢町)

Present
お食事券 (1,000円分)
商品番号 24



今年ものみくい処やまだやをよろしく願います!

のみくい処やまだや (昭和町)

■全日本だるま研究会会長 甲村浩訳氏による講演会

- ◎日時 2月11日(祝)/午後1時から
- ◎会場 産業プラザ人材育成センター (中田)
- ◎申込期間 1月7日(月)~2月8日(金)
- ◎申込方法 来館・電話・FAX・Eメールのいずれかの方法でお申し込みください。

※講演会終了後、中村氏による展示解説を行います。入館にはチケットが必要となります。

■展示解説会

- ◎日時 1月26日(土)、2月24日(日)/午後2時から
- ※申し込みは不要ですが、入館チケットが必要です。

【問い合わせ先】

歴史民俗資料館 ☎2310 / FAX ☎2256 / Eメール rekishiminzoku@city.shirakawa.fukushima.jp

■開館情報 (1月26日(土)~3月10日(日))

- ◎開館時間 午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分まで)
※1月26日(土)は午前11時開館
- ◎会場 歴史民俗資料館 (中田)
- ◎入館料 大人 200円/小中学生・高校生 無料
- ◎休館日 毎週月曜日 (2月11日(祝)は開館、12日(火)休館)

■半券割引

だるま展の会期中、だるま展の半券を白河集古苑(郭内)で提示、また白河集古苑の半券(だるま展会期中のもの)をだるま展で提示していただくと、それぞれ100円引きで入館できます。



【白河だるまを除き個人所蔵 (中村コレクション)】

ほんの

◀展示品の一部を紹介

特別企画展では、北海道から沖縄まで、作られなくなったものも含めて、約300点のだるまを展示します。ここに紹介するだるま以外にも、その地域・時代ならではの特徴的なだるまがたくさんあります。この機会にぜひご覧ください。



白河

■白河に全国のだるまが集まる

白河は「白河だるま」の産地として知られ、古くからだるまづくりが受け継がれています。「白河だるま市」も起源の「市神様」(市神を祭る年始めの市)が江戸時代の文献に見られ、昔から続く伝統行事です。今回の特別企画展では、戦前(大正末期から昭和初期まで)の白河だるまや福島県内のだるまを展示するほか、昭和30年代・40年代を中心に全国のだるまが大集合します。「転んでも起き上がる」「縁起の良い」だるまの力で、震災復興や開運招福を応援します。

◎会期 1月26日(土)~3月10日(日)
◎会場 歴史民俗資料館 (中田)

白河の初春の風物詩「白河だるま市」。かつては旧暦の1月14日に開かれていましたが、2月の決まった日(14日、後に現在の11日)に開かれるようになって、今年で50年になります。この節目の年に、戦前から昭和40年ごろまでの全国のだるまを一堂に会して紹介する特別企画展を開催します。今月号では、特別企画展の内容と展示だるまの一部を紹介します。

白河だるまと全国のだるま

白河だるま (大正12年) 京都市蔵 (木戸忠太郎コレクション)

七転び八起き・開運招福

◎特集 特別企画展

復興祈願!

白河を輝かせる 7つのヒント

■特集／しらかわ大使の言葉

11月13日、東京都内で「しらかわ大使懇談会」が開催され、本市をどう感じているか。しらかわ大使として今後どのような協力ができるか」をテーマに話し合いました。
今月号では、懇談会の内容を抜粋して皆さんにお届けします。




▲本市にエールを贈るしらかわ大使

1 多くの若い人に将来の夢を描いてほしい

10年後の白河市はどうなっているのでしょうか。私たちの企業では10年計画があり、職員もそれに向かって進んでいます。今回、震災があり、今後の福島県、そして白河について議論してもらいたいですね。そういった議論の場に、30代の人に参加してもらいたいと考えています。できるだけ若い人に白河のことを考えてもらい、将来の夢を描いてもらえればと思います。

神戸市に住んでいる旅行好きの方に、「白河に行ったことがありますか」と尋ねました。「白河の関は覚えていますが、一回行けば十分です」と答えが返ってきました。白河は今まで客の目で観光政策を考えてきたのでしょうか。自分たちに無いものを感じる、外の目を意識した政策が必要です。白河だけでできなければ、会津若松市などと連携した広域的な観光を考えていく手段もあると思います。

浅井光昭氏 Asai Mitsuaki
住友ゴム工業(株)相談役
元同社取締役会長

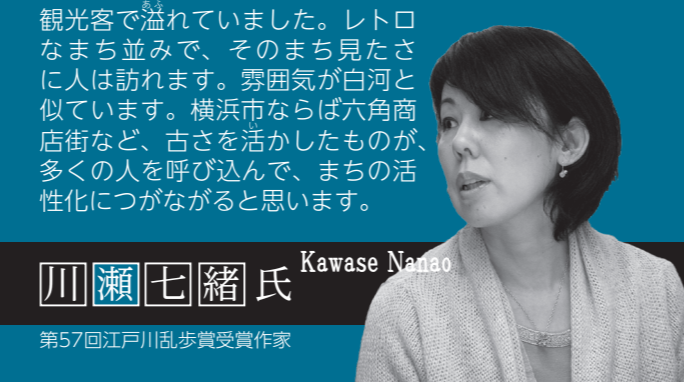


4 地方の優れた産業を再評価すること

私は、デザイン業としても、地方の産業の復活、職人の復活というプロジェクトをしています。ファーストファッションの台頭により、地方の優れた産業が潰されています。福島県はセーター、染物や木綿などの伝統的な産業がありました。今では岡山市・倉敷市の一部しかありません。そのため、プロジェクトを通して、職人を起用して伝統的な価値を認めてもらう作業を、デパートなどの小売店に訴えています。

また、鳥取県に取材に行く機会がありましたが、すごく良いまち並みでした。全体的な完成度が高く、多くの観光客で溢れていました。レトロなまち並みで、そのまち見たさに人は訪れます。雰囲気は白河と似ています。横浜市ならば六角商店街など、古さを活かしたものが、多くの人を呼び込んで、まちの活性化につながると思います。

川瀬七緒氏 Kawase Nanao
第57回江戸川乱歩賞受賞作家



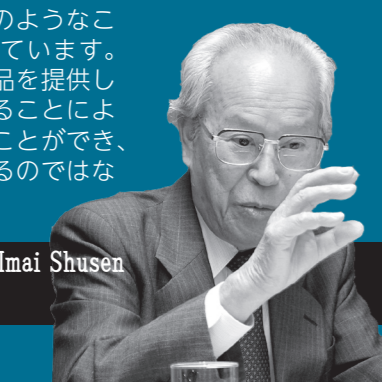
5 はがき1枚のチャリティの実現を

白河市に行く機会がありました。以前はまちに人も歩いていない状態でしたが、市立図書館やイベント広場ができ、活気を感じました。さらに今後、市民文化会館の建設もあり、本当に楽しみにしています。

国の放射能測定器の測定ミスには不信感を感じます。しかし、白河では徳島大学の協力を得て、不安解消に向けて事業を進めていることは大変良いことです。

しらかわ大使としての協力ですが、東日本復興のために私の所属する美術協会で、はがき1枚に絵を描いたチャリティを行いました。白河でも小中高の美術の先生のお力をお借りして、このようなことができないかと思っています。先生にはがき1枚の作品を提供してもらい、一堂に会することにより、参加した方が学ぶことができ、さらに復興支援にもなるのではないかと考えています。

今井珠泉氏 Imai Shusen
日本画家

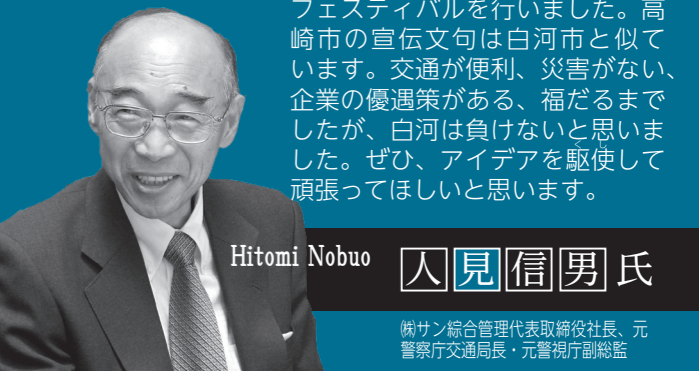


2 感情から現実へ転換し、自立の精神を

風評被害の点については、利もある場合もあれば害になる場合もあります。警察時代に西日本に勤務しましたが、白河以北みな東北の意識です。大文字焼きの薪、北九州市の瓦礫の受け入れ拒否などの問題でも分かるように、これから情から理、主観から客観へ、感情から現実への転換が必要です。現在、東北を応援しようという意識が薄れつつあります。東京電力(株)の電気料金の値上げや政治の変化(格差是正・定数是正)などあるため、理や現実に導き、さらには自立の精神が必要となります。

高崎市が10月に東京ステーションホテルで企業誘致のフェスティバルを行いました。高崎市の宣伝文句は白河市と似ています。交通が便利、災害がない、企業の優遇策がある、福だるまでしたが、白河は負けなれないと思います。ぜひ、アイデアを駆使して頑張してほしいと思います。

人見信男氏 Hitomi Nobuo
(株)サン総合管理代表取締役社長、元警察庁交通局長・元警視庁副総監




3 価値観の崩壊を、新たな福島を創造する力に

復興に対する世間的な目が下火になっています。避難している方も金銭面では今の生活をなんとか維持している状況ですが、今後の福島県の展望が見えません。仮のまち構想、コミュニティをどこに作ればいいのか分からないなど、政治のリーダーシップが必要です。

神戸震災と東日本大震災はどこが違うのでしょうか。神戸市の場合には12万人が神戸を離れました。自然増減により10年ぐらいで人口は戻りました。しかし、社会増減では、地震で出た方は戻ってきませんでした。福島は自然増減・社会増減ともマイナスで、神戸のデータからも福島を離れた10数万人は戻ってこない可能性があります。2030年で150万というデータもあり、現実になると考えられます。福島全体の在り方や価値観が根底から変わり、今後、皆さんがしっかりと夢を持つことがとても大切です。

田口信太郎氏 Taguchi Shintaro
東邦銀行取締役、元NHK福島放送局長




6 企業の機能の一部を呼び込む開発センターを

私たち業界は、日本より海外で展開しなければならない現状です。福島県内に2つの工場があり、統合を考えたのですが、形態を変えて残しました。残した意味は、開発センター構想や自動車業界にとっての設備・治具は分散化できません。日本のものづくりの知恵が一番発揮できるところと考えているからです。

その観点から、開発センター構想のような、海外に移転して行っているものづくりの原点を、国がサポートする体制を整えることが大切です。福島の高い技術を活用できるよう、行政が企業を支援し、付加価値の高い製品を作ってもらうことは重要です。一方では、地場産業を育成させることが大切です。

企業にとって魅力的な白河には、現存する企業に、機能の一部を呼び込んだ開発センターはできるのではないかと思います。

戸井田和彦氏 Toita Kazuhiko
(株)ファルテック取締役社長、元日産自動車(株)常務執行役員



7 白河に行かなければならない理由を

私は「福島を食べようツアー」を計画しています。昨年、角館市にプロデュースした1泊3万5千円の宿があり、箱根に行くよりも運賃は掛りますが、多くの人に利用してもらっています。これを考えると、白河市に行こうとしたとき、とれだけの宿泊施設があるでしょうか。安全・安心・健康をテーマとした施設があれば、立地の良さからも多くの方が訪れます。そのような施設を作ってもらえれば、私はツアーを組んで行く用意があります。

白河は、東京から新幹線で約1時間。本来は夢が持てる場所です。松尾芭蕉の文化、昭和のまち並みなど、白河に行かなければならない理由を考えなければなりません。宿泊・食事・やすらぎがキーワードです。まちに人が歩いていないならば、二期倶楽部(那須町)のような隠れ家的なものを考えれば良いと思います。

野崎洋光氏 Nozaki Hiromitsu
【分とく山】総料理長

